

ソートリーダーシップ・レポート

RISK BY NUMBERS

リスクを数値で捉え、そこに潜む機会を明らかにする



Your Risk Management
Advantage

LRQA.COM

エグゼクティブ・サマリー

今日のスピード感あふれるビジネス環境において、リスクはもはや単独で封じ込めたり管理したりできるものではありません。リスクは相互に関連し、動的に変化し続けるものであり、単なる脅威ではなく、機会を示すシグナルであり、推進力として捉えるべきです。先進的な企業は、リスクマネジメントをコンプライアンスの義務ではなく、戦略的な優位性を生み出す手段、つまり「優れた経営」として位置づけています。

リスクマネジメントの成熟度が高い企業の **71%** が、こうした能力が世界的な危機の悪影響を軽減するのに役立っていると回答しています（ボストン・コンサルティング・グループ、2023 年）。

実際、リスクを個別のチェックリストではなく、つながりのあるシステムとして捉えている企業は、危機からの回復が早く、投資家からの信頼も高まり、企業への信頼も強化されています。特に、サステナビリティへの取り組みが可視化されている企業は、消費者からの支持を集めています。一方で、この分野での対応が不十分であれば、実質的なコストが発生します。

サイバー犯罪による世界全体の年間被害額は、2015 年の **3 兆ドル** から 2025 年には **10.5 兆ドル** に達すると予測されており、GDP で見れば世界第 3 位の経済規模に相当します（Cybersecurity Ventures）。

また、サプライチェーンの混乱による損失も増加しており、過去 2 年間で **81% の企業** がサプライヤー関連の混乱を経験しています（RapidRatings、2025 年）。さらに、環境・社会・ガバナンス（ESG）に関連する不祥事は、短期的に平均約 **0.29% の株価下落** を引き起こすことが、学術研究により明らかになっています（Nicolás ら、arXiv、2023 年）。

本レポートでは、こうした「両面」を掘り下げます。すなわち、対応を怠ることによる具体的かつ累積的なコストと、リスクを賢く、つながりのある視点で捉えることで生まれる価値創出の可能性です。

世界各地のデータ、公開情報の分析、そして LRQA の専門家による見解をもとに、リスクを軽視した場合に何が起こるのか、そして戦略的に管理した場合に何が可能になるのかを検証します。

レポートで取り上げる内容

- サプライチェーンにおけるサイバーリスク、ESG リスク、業務上のリスクを見過ごした場合の実際のコスト
- 気候変動から AI 倫理まで、変化し続けるリスクの姿
- エネルギー、食品、金融などの業界別ケース紹介
- リスクマネジメントを「問題が起きてから対応する仕組み」から、「レジリエンス・信頼・透明性・確信を生み出す原動力」へと進化させるための 5 つの視点
- 2025 年における「優れた取り組み」の実例と専門家の見解

『Risk by Numbers』は、経営陣に危機感を煽ることを目的としたものではありません。本レポートの目的は、リスクがもたらす影響の大きさを明確に示すことにあります。

これからのリスク環境で成果を上げる企業とは、リスクを「正しく把握し、全体像をつかみ、主体的に対応する」姿勢を持つ企業です。

目次

エグゼクティブ・サマリー

ポイントで見る：効果的なリスクマネジメント

ポイントで見る：見過ごされたリスクの代償

リスクの変化とその背景

統合的リスクマネジメントの実践例

業界別の実践事例

リスクの裏側にある課題

機会を逃すことのコスト

リスクを強みに変える 5 つの視点

実際の取り組み事例

次に求められる対応とは

データ出典

3

4

5

6

7

8

11

13

14

15

17

19



本レポートの構成と情報源

本レポートは、世界各地の公開データ、LRQA の独自ツール「EiQ（サプライチェーン・インテリジェンス・ソフトウェア）」による情報、そして **150 か国以上・61,000 社を超えるお客様** と関わる LRQA の専門家による分析をもとに構成されています。

本レポートの情報源

信頼性の高い
国際データ



お客様との取り組みから
得られた業界別の
事例と分析



サイバーセキュリティ、
ESG、サプライチェーン
リスクに関する LRQA の
専門家によるコメント



LRQA の EiQ は、以下のような膨大なデータを統合しています：

8,500 万件以上
審査データポイント

年間 **30,000 件以上**
の審査実績

サプライヤーに関する知見

200 万社以上

対象となるのは、
1 億人を超える労働者

EiQ には、労働者の
苦情データを統合

毎月 6,000 件超の
報告を収集

e ラーニングの受講状況

150 万件の
コース修了実績
さらに分析データも含む

50 以上
の指標

広がる
200 以上の
地域に対応

加えて
500 以上の
製品



ポイントで見る 効果的なリスクマネジメント

 **70%**

世界の消費者の 70%が、持続可能に
生産された商品に追加料金を支払う
意向を示している

PwC, 2024

 **72%**

機関投資家の 72%が、構造化された
ESG パフォーマンス評価を実施。
数年前は 32%に過ぎなかった

EY, 2021

品質システムが成熟している企業は、
業務効率を最大 30%改善している

 **30%**

McKinsey, 2023

 **2.6x**

品質システムが成熟している企業は、
業務効率を最大 2.6 倍向上させている

Accenture, 2024

ポイントで見る 見過ごされたリスクの代償

\$10.5 
trillion

2025 年に予測されるサイバー犯罪による世界全体の年間被害額
Cybersecurity Ventures

約 3 分の 1 の企業

\$5 
million

サプライチェーン障害 1 件あたり 500 万ドル超のコストが報告されている RapidRatings, 2025

 **54**

火災、建物、機械の安全違反により人命や資産が危険に直面している国数

EIQ, 2025

 **80%**

過去 12 か月間にサプライチェーンの混乱を経験した企業の割合

BCI, 2024

 **c.0.29%**

ESG 関連の不祥事が発覚した場合の短期的な平均株価下落率

Nicolás et al., arXiv, 2023

 **57**

強制労働のリスクが高いまたは極めて高いと評価された国数。社会的、財務的、法的、評判面での損害を招く恐れがある

EIQ, 2025

リスクの変化とその背景

世界のリスク環境は前例のないスピードで変化しています。しかし、変化はリーダーシップを発揮する機会でもあります。たとえば、地政学的な変化は世界貿易の構造を塗り替える一方で、多様化を加速させています。関税や政策の不確実性により、2025年には世界貿易量が0.2～1.5%減少すると予測されています（WTO, 2025）。一方、先進的な企業はこの機会を活かし、地域のサプライチェーンを強化し依存関係を再構築しています。

デジタルリスクも、より強固なパートナーシップを築く機会へと変わりつつあります。現在、**セキュリティ侵害の3分の2**は第三者サプライヤーに関連しています（IBM, 2024）。そのため、先進企業はサプライチェーンの情報共有プラットフォームやサイバー・レジリエンスへの投資を進めています。

人権課題も依然として緊急性が高い状況です。LRQAのEiQデータによると、東南アジアでは強制労働の兆候が**前年比39%**増加しています（LRQA EiQ, 2025）。こうした問題はもはや隠れたリスクではなく、監視ツールの進化により可視化され、早期是正措置や信頼性の高いESG対応が可能になっています。

気候災害やパンデミックなど、世界的な事象による事業への衝撃は、リスクがどのように進化しているか、そして備えの重要性を示しています。たとえば、米国では1980年から2024年の間に天候関連の損害が**10億ドル**を超えました（NOAA, 2025）。また、パンデミックによる海上輸送の損失はわずか8か月で**2,250億～4,120億ドル**に達しました（arXiv, 2020）。

さらに、AIのような新技術は大きな可能性を秘めています。予知保全、高度な分析、プロセス改善、製品開発の加速などにより、効率性と競争力を飛躍的に高めています。一方で、AIはバイアス、詐欺、誤情報といった新たなガバナンス課題をもたらします。こうしたリスクに対応するため、ISO/IEC 42001のような世界初のAIマネジメントシステム認証が登場し、責任あるイノベーションを実現するための具体的な手段を企業に提供しています。

これらの要因は、リスクが相互に結びつき、常に変化し続ける仕組みであることを示しています。

リスクを一体的な仕組みとして捉えることで、企業は不確実性を先見性に、コンプライアンスを信頼に、そしてリスクマネジメントを強みに変えることができます。

統合的リスクマネジメントの実践例



統合的な視点の重要性

先進企業は、分断されたリスク管理から脱却し ...

... サイバー、ESG、オペレーション、サプライチェーンを
一体化した戦略へと移行しています。

その結果、予期せぬ事態が
減るだけでなく ...

... ブランドへの信頼性が高まり、意思決定が
迅速になり、事業成果も測定可能になります。

より速く、より賢く、より強く

品質システムが成熟している企業は、
業務効率を



改善している

McKinsey, 2023

データ主導でシンプルなリスクマネジメントを導入
した企業による主要なリスク管理プロセスのコスト
削減率



Accenture

統合的なリスクマネジメントの枠組みを持つ企業は、
他社との差別化を実現しています。取締役会から現場
まで、全員が同じリスクの全体像を共有しているため、
意思決定が迅速になります。複雑で多層的なサプライ
チェーン全体の可視性を示すことで、投資家からの信頼
を獲得します。さらに、内部の責任体制と外部への発信
が一致しているため、企業の評判を守ることができます。

リスクが統合されていれば、
組織全体が連携し、スピード
と確実性をもって動けます。

業界別の実践事例

消費財

消費財業界では、複雑で多層的なサプライチェーンにおけるリスク管理について、企業は規制当局、投資家、消費者から厳しい監視を受けています。先進企業は、透明性を高め、人権や ESG 違反のリスクを減らすために、継続的なモニタリングとデータ主導のリスク評価を導入しています。監査に加えて、リスクインテリジェンスを活用することで、企業は早期に対応し、年々レジリエンスを強化できます。

実際の取り組み事例

Holland & Barrett

HOLLAND & BARRETT

「私たちが直面している最大の課題の一つは、Tier 1以降の可視性が限られていることです。小売業者として、コンプライアンスは重要ですが、原材料の調達元まで確認することも欠かせません。サプライチェーンは複雑で、多層構造になっています。私たちが求めているのは、製品が倫理的に調達されているかどうかです。監査や包括的なリスク評価を行っていますが、それらの手法の一部は固定的です。」

「EiQ は、受け身ではなく先手を打った対応を可能にしてくれました。最も重要な例は、取引開始前の段階での活用です。実際、取引を始める前から、サプライヤーがビジネスに入る前にリスク評価を行っています。EiQ のデータセットのおかげで、世界中のサプライヤーをスキャンし、問題があれば即座にリスクを警告します。これは本質的に継続的なモニタリングです。」

Ramesh Panavalli

責任ある調達・人権担当責任者 | Holland & Barrett



業界別の実践事例

食品製造業

食品製造業は、最も厳しく規制された環境の一つであり、わずかな不備が人命を危険にさらすだけでなく、即座に財務面や評判に深刻な影響を及ぼします。Consumer Brands Association（2023）によると、メーカーは ESG、調達、コンプライアンスのデータを共有プラットフォームに統合し、グローバルなサプライチェーン全体の可視性を確保する取り組みを強化しています。この統合的なアプローチは、食品安全を支えるだけでなく、労働争議、気候変動、地政学的混乱といった新たなリスクへの迅速な対応を可能にします。

実際の取り組み事例



MCDONALD'S

「マクドナルドが直面するリスクや、そのリスクを管理できなかった場合の結果は、他の企業と何ら変わりません。財務リスク（売上の損失や店舗閉鎖）と、信頼を取り戻すのは容易ではない評判リスクがあります。評判は築くのに何年もかかりますが、失うのは一瞬です。私たちはその道を決して歩まないと決意しています。60 年以上にわたり、信頼のブランドを築いてきました。『マクドナルドは信頼できる』という評価です。安全な食品は常に私たちの約束であり、どんな代償を払っても揺るぎません。」

「私たちは 25 年以上にわたり LRQA と協力してきました。当初から強い協力関係を感じていました。LRQA は、他業界のリスクを特定し、それが食品業界にどう関係するかを示す独自の方法を持っています。表面的には異なる問題に見えても、原則は同じです。この視点を持つことが非常に重要です。」

Professor Bizhan Pourkomialian

グローバル食品安全・レストラン・流通部門ディレクター | McDonald's



業界別の実践事例



金融サービス

金融サービス業界では、企業が M&A のデューデリジェンスにサイバーセキュリティ、法務、ESG リスクを組み込む動きが進んでいます。この統合的なアプローチにより、買収がスムーズになり、統合後の問題が減り、後期段階での高額なトラブルを回避できます。



2025 年には世界の M&A 件数が前年比 27% 増加（JP モルガン）しており、企業は急ピッチで動いています。しかし、サイバーリスクや ESG リスクを見落とす代償は甚大です。例えば、2017 年の Yahoo と Verizon の取引では、未公開のデータ侵害により、取引額が 3 億 5,000 万ドル減額されました（約 7% の価値減、Reuters）。こうしたリスクを避けるため、賢明な買収企業は初期段階からリスクマネジメントを組み込んでいます。

「調査によると、コンプライアンスや業務リスクの見落としによる統合遅延は、期待される取引価値の 10 ～ 15% を失わせる可能性があります。これは小規模な資産買収から世界的な大型 M&A まで、誰もが直面し得る課題です。LRQA 自身も積極的な M&A 戦略を進めており、サプライチェーン、ESG、サイバーセキュリティなどの潜在的な問題を事前に解決することで、リターンを損なわないようにしています。」

Jonathan Chidley
Corporate Development Director | LRQA



エネルギーと再生可能エネルギー

エネルギー・再生可能エネルギー分野では、LRQA はテクノロジーを活用し、保証の仕組みを見直し、より効率的で連携した形に進化させています。例えば、VR グラスを使えば、検査員が洋上施設や遠隔の建設現場から映像を世界中の技術者にライブで共有できます。現場に何度も足を運ばなくても、その場で専門家と連携しながら作業を進められるのです。



「この取り組みは、2024 年末に大型の新規油ガスプロジェクトで初めて導入され、重要部品の不適合を減らし、建設スケジュールを短縮し、リスクを早期に軽減しました。お客様にとっては、安全な操業、迅速な意思決定、そしてコストと排出量の削減という具体的なメリットにつながっています。」

「デジタル技術の活用が、エネルギー企業の事業継続力とサステナビリティを高めている好例です。」

Leanne Halliday
Head of Sector, Energy and Renewables | LRQA



リスクの裏側にある課題

リスクマネジメントの壁を取り払い、情報をつなぐ重要性が広く認識されつつあるにもかかわらず、多くの企業では依然として、サイバー脅威、ESG 対応、業務中断、サプライチェーンの脆弱性を別々の部門やシステム、外部委託先で管理しています。

こうした分断されたアプローチは、可視性を制限するだけでなく、本来なら共有すべき重要な情報を隠してしまいます。もしそれらが共有されていれば、長期的な価値を生み出せる可能性があるのです。

見えないリスクがもたらす金銭的成本

サイバーリスクはその典型例です。多くの企業は境界防御やエンドポイント検知に投資していますが、第三者やサプライチェーンのサイバーリスクを、調達やコンプライアンスのプロセスに組み込んでいる企業はまだ少数です。その結果、現在では **66%以上** の情報漏えいが第三者ベンダーに関係しています (IBM、2024 年)。医療業界では、1 件の情報漏えいで平均 **1,090 万ドル** の損失が発生しており、その多くは患者データや業務データを扱う IT 以外のサプライヤーが原因です (IBM、2024 年)。こうした「見えないリスク」をつなぎ合わせて管理することこそ、企業が最大の優位性を得るポイントです。つまり、他社が見落とす部分を見抜くことです。

「ISO 27001 認証を取得している企業でも、第三者の脆弱性やサプライチェーン上のリスクを抱えており、攻撃者に悪用される可能性があるケースを数多く見てきました。」

「認証には価値がありますが、それだけに頼るのは危険です。本当のレジリエンスは、認証を土台にして、システム、サプライヤー、チーム全体をつなぐことから生まれます。こうした取り組みこそが、コンプライアンスを長期的な成長とレジリエンスの推進力に変えるのです。」

Ben Turner

Senior Vice President, Advisory Consulting Services | LRQA



分断されたサプライチェーンデータがもたらす業務負担

サプライチェーンでは、情報の分断が企業の足かせになっています。たとえば、調達チームがコストや納期だけを基準にサプライヤーを承認してしまい、6か月前に監査チームが同じ拠点で「不満の隠蔽」や「無許可の下請け」を指摘していたことを知らないケースがあります。

2024 年だけでも、LRQA の EiQ サプライチェーン・インテリジェンス・プラットフォームは、労働仲介業者の不正行為に関連する監査指摘を 850 件以上検出しました。

さらに、**バングラデシュのアパレル業界では、EiQ が週 123 時間もの過剰労働違反を確認しています。**

EiQ, 2025.

こうした情報が監査報告書の中で眠ったままでは意味がありません。部門間で適切に共有されれば、業務の混乱を防ぎ、サプライヤーとの関係を強化し、健全な成長につなげることができます。

一貫性の欠如がもたらす信頼低下

今日の透明性が高い社会では、情報の不一致そのものがリスクになります。社内チームが分断され、ESG は一方、マーケティングは別、監査はさらに別という状態では、企業は異なるメッセージを異なる相手に発信してしまいます。投資家、規制当局、そしてお客様は、公開情報を照合し、一貫性を求めています。

「私たちは、特に消費財分野で、お客様の責任ある調達プログラムの変革を支援できることを誇りに思っています。世界的ブランドであっても、構造的なギャップを抱えることがあります。表向きは倫理的な調達を掲げながら、内部監査ではリスクが静かに指摘されている、というケースです。」

「第三者の調査でこうした不一致が明るみに出ると、評判への影響は一瞬で広がります。投資家の信頼は低下し、消費者は反応し、公開での訂正が続きます。情報の整合性を確保することは、評判を守るだけでなく、利害関係者との信頼を築き、測定可能な価値を生み出します。」



Chris Lee

Global Head of Advisory | LRQA

機会を逃すことのコスト

情報が部門ごとに分断されたままだと、企業は成長の機会を逃してしまいます。たとえば：



サイバーセキュリティ部門と M&A 部門が情報を共有していないと、脆弱性を抱えたまま取引が進んでしまうことがあります。



ESG 目標がサプライヤーの意見を取り入れずに設定されると、サステナビリティの計画が停滞します。



調達部門が倫理やコンプライアンスのリスクを把握していないと、コスト削減がかえって評判リスクにつながる可能性があります。



広報や IR 部門が監査結果を知らないまま発信すると、たった一度のやり取りで信頼を失う可能性があります。

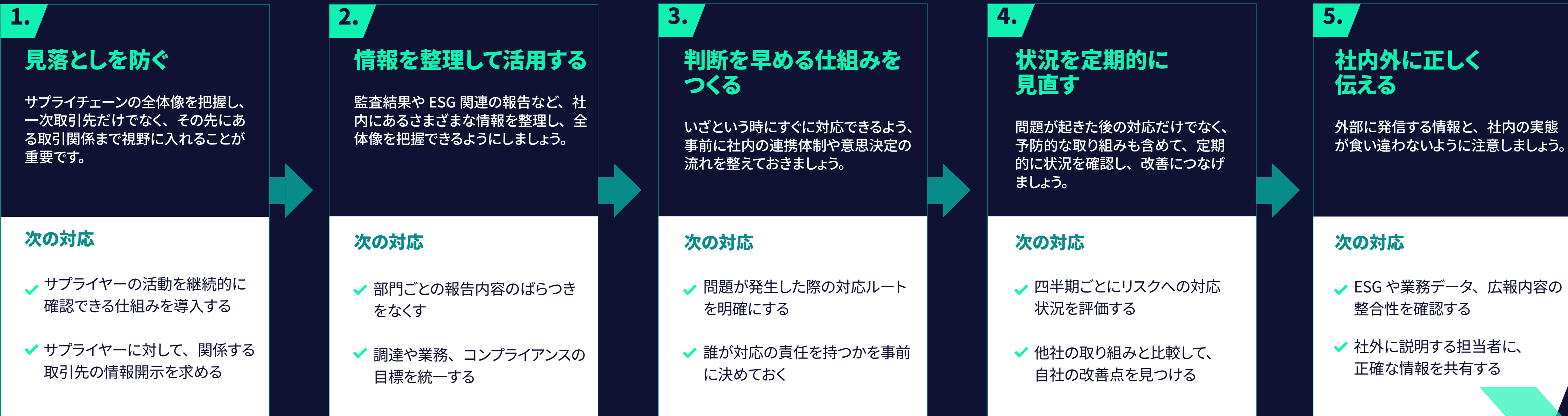


一貫したリスク対応がもたらす力

リスクを正しく理解し、部門を超えて連携することで、企業は戦略的な先見性を手に入れます。こうした壁を取り払った企業は、意思決定のスピードが上がり、ブランド力が強化され、競合が見落とす機会をつかむことができます。

リスクを強みに変える 5 つの視点

リスクを強みに変えるための中核的な力



どのように実現されているのか

リスクが急速に変化し、複雑に絡み合い、影響も大きい現代において、企業には「明確な判断材料」と「自信を持って行動できる力」が求められています。LRQA が提供する支援は、業種・規模・地域を問わず、企業にとって最も重要な領域に対応できるよう設計されています。



ソリューション

品質保証

コンプライアンスにとどまらず、より強固なシステムとプロセスによって、品質・効率・業務の卓越性を高めます。

課題

多くの組織では、品質保証をチェックリストとして扱っています。しかし、停滞したプロセスや形式的な審査では、小さな非効率や見えない欠陥が生産性の低下や製品の回収につながり、数百万ドル規模の損失を引き起こす可能性があります。

機会

先進的な企業は、品質保証を効率性と業務の卓越性を推進する手段として活用しています。継続的なモニタリングとシステム思考を組み込むことで、品質は単なる安全策ではなく、成長のための手段となります。

データ

EU域内の製品回収件数は

**2024年に
12%増加**

(Sedgwick, 2025)

成熟した品質管理体制を持つ組織は、業務面において同業他社より

30%

高い成果を上げている

事例

Shell 社は LRQA と連携し、安全性が重要な 3D プリント部品の認証を取得しました。この部品は欧州圧力機器指令 (PED) に基づく CE 認証を達成しています。このプロジェクトは、保証が革新を安全かつ確実に拡大させることを示しています。



ソリューション

安全の卓越性

人、設備、製品、そして業務全体を、安全への取り組みと継続的な改善によって守ります。

課題

安全に関する事故は、今なお企業に莫大な損失をもたらしています。形だけの取り組みでは、人や設備を十分に守ることができません。

機会

安全を日常業務に根づかせている企業では、事故の発生件数が 70% 減少し、従業員の定着率も向上しています (BCI, 2024)。安全への取り組みは、働く人を守るだけでなく、生産性や企業の信頼性、事業の継続性を守ることにもつながります。

データ

回避可能な労働災害によって

年間278万人

が世界中で命を落としています (ILO, 2023年)。

事例

石油・ガス業界の KATONI 社は、LRQA の支援を受けて、ISO 45001 (労働安全衛生マネジメントの国際規格) への移行を早期に進めました。この取り組みにより、安全に対する考え方が社内全体に浸透し、継続的な改善と利害関係者からの信頼の向上につながっています。





ソリューション

サイバーセキュリティ

攻撃者の視点を取り入れた対策とインシデント対応の備えによって、デジタルリスクを低減し、対応力を高めます。

課題

サイバー犯罪による世界全体の年間被害額は、2025年には10.5兆ドルに達すると予測されています（CYBERSECURITY VENTURES, 2023）。中堅企業は特に影響を受けやすく、攻撃者視点での検証やインシデント対応の準備が不十分なケースが多く見られます。

機会

攻撃者の視点を取り入れた対応力を高めることで、ペネトレーションテスト、レッドチーム演習、インシデント対応を統合し、情報漏えいの検知にかかる時間を数か月から数日に短縮することができます。

データ

情報漏えいによる世界平均の損失額は

4.45百万ドル

ですが、リスク対応を統合的に進めている企業では、これを30%削減しています

IBM, 2024

事例

LRQA は、あるグローバル金融サービス企業に対して、攻撃者の視点を取り入れたテストと対応計画の構築を支援しました。この取り組みにより、インシデントへの備えとサイバー耐性の強化を実現しています。

ソリューション

気候パフォーマンス

企業が GHG 排出量の削減やサステナビリティ目標の達成に向けて、理解・測定・検証・加速できるよう支援します。

課題

気候リスクは、企業にとって実質的な経営リスクになりつつあります。一方で、EU の CSRD や米国 SEC の開示義務強化など、規制も厳しくなっています。

機会

気候変動への対応に取り組む企業は、投資家からの評価が高まり、事業の混乱に強くなり、コスト削減にもつながります。

データ

異常気象による世界全体の損失額は

2,800億ドル

に達しました

Munich Re, 2024

一方、再生可能エネルギーへの移行だけでも

1,400万人分

の雇用が2030年までに創出

される可能性があります

IEA, 2021

事例

LRQA は、Thrust Carbon 社の ISO 14083 に基づく GHG 排出量算定の検証を支援しました。この取り組みにより、信頼性の高いネットゼロ報告が可能となり、実効性のある削減活動を加速させています。



ソリューション

責任ある調達

人を守り、信頼を築くために、透明性と対応力のあるサプライチェーンを構築します。

課題

サプライチェーンにおける見落としは、ブランドにとって最大級のリスクのひとつです。サステナビリティ報告と現場の実態に食い違いがあると、評判リスクを引き起こす要因になります。

機会

責任ある調達は、守りの姿勢から積極的な取り組みへと変化しています。調達プロセスに透明性を組み込むことで、混乱や評判リスクを減らし、サプライヤーとの関係を強化できます。

データ

東南アジアにおける強制労働の兆候報告件数は

前年比39%増加

しました (LRQA EIQ, 2025)

事例

PUMA 社は、LRQA の EIQ サプライチェーン・インテリジェンス・ソフトウェアを活用し、サプライヤーや工場、拠点のリスクを評価・管理しました。その結果、過剰労働、不十分な賃金、社会保障の未整備といった課題を事前に把握し、対応につなげています。

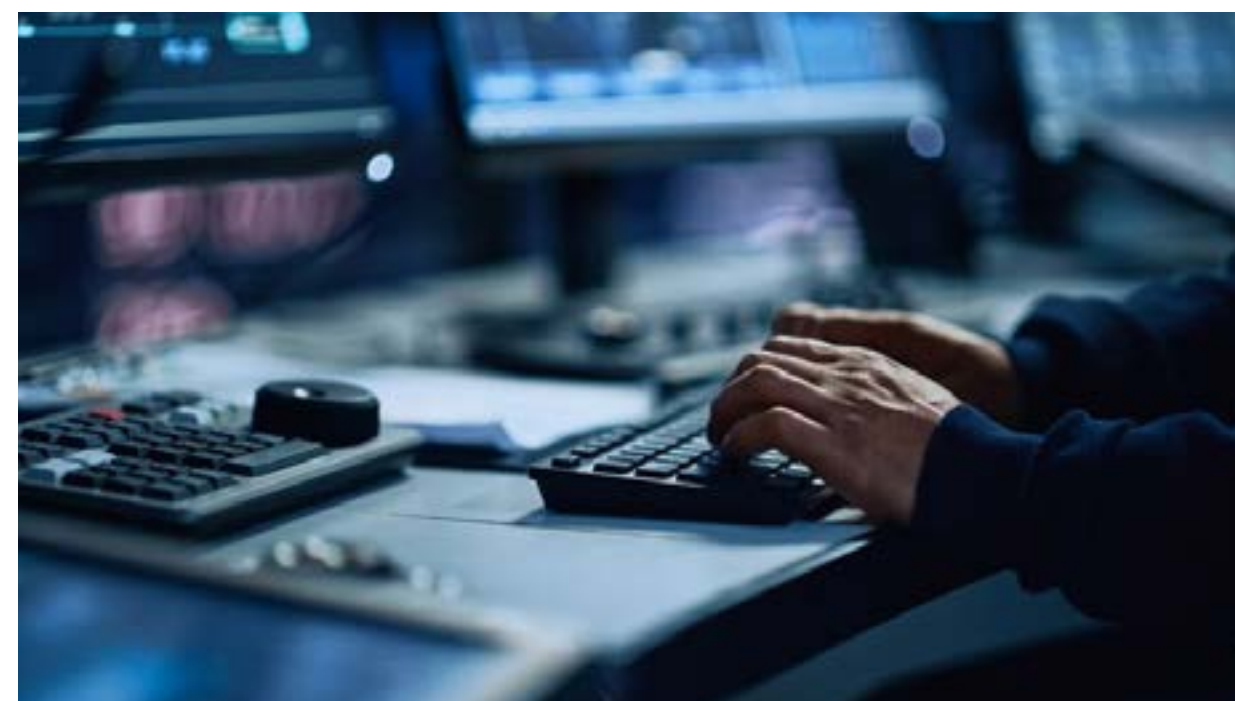


次に求められる対応とは

信頼できる情報と専門的な知見に基づいた統合的なリスクマネジメントは、企業に対応力、信頼、柔軟性をもたらします。リスク領域を横断して情報をつなぐことで、企業は成長を加速させ、利害関係者からの信頼を強化し、競合よりも迅速に動くことができます。しかし現実には、リスク戦略が「真に統合されている」と答えた企業はわずか 18%にとどまっており（Economist Impact, 2023）、大きな改善の余地が残されています。

リスク環境は急速に変化しています。気候変動は、もはや ESG の話題にとどまらず、サプライチェーンの混乱要因であり、規制の推進力であり、企業の評判にも影響を与える要素です。

2023 年には、異常気象による世界全体の損失額が 2,800 億ドルに達しました（Munich Re, 2024）。EU の CSRD や米国 SEC の開示義務強化など、規制の厳格化は投資家の期待を大きく変えつつあります。経営者にとって重要なのは、「気候リスクが事業に影響するかどうか」ではなく、「どれだけ早く、どれだけ確実に対応できるか」です。



人工知能 (AI) は、企業に新たな可能性をもたらします。たとえば、予知保全によるダウンタイムの削減、高度な分析によるサプライチェーンの可視性向上、製品開発の加速、よりスマートで個別化された顧客対応などが実現できます。一方で、AI には深刻な新たなリスクもあります。自動化された意思決定に偏りが生じると、公平性や規制遵守が損なわれる可能性があります。生成 AI はすでに、サイバー犯罪や詐欺、誤情報の拡散に悪用されています。

AI モデルの管理が不十分である場合、企業は評判の低下、法的責任、投資家からの懸念といったリスクにさらされます。そのため、AI の倫理的な運用は経営層にとって重要な課題となっており、企業が信頼される技術活用を進めるうえで欠かせない取り組みのひとつとして、ISO 42001 認証（世界初の AI マネジメントシステム規格）が注目されています。

事例紹介

EHS | مؤسسة الإمارات للخدمات الصحية
Emirates Health Services

EMIRATES HEALTH SERVICES (EHS) は、LRQA による ISO 42001 審査を受けた世界初の組織です。

「私たちは、医療サービスを提供する立場として、AI の可能性を活かし、患者の体験向上と生活の質の改善に取り組んでいます。その際には、倫理性、透明性、そして患者の安全を最も重視しています。LRQA による ISO 42001 の審査を終えたことは、AI を責任ある形で活用し、適切に管理していく姿勢を示す重要な一歩となりました。」

「この成果は、技術を業務に取り入れる取り組みを支えるものであり、AI を倫理的に活用するための高い基準を維持していくという私たちの考えを強化するものです。今後も、先進技術を戦略の中心に据えながら、組織として、そして社会全体に貢献してまいります。」

H.E. Mubarak Ibrahim

IT 部門 エグゼクティブ・ディレクター | Emirates Health Services

気候変動による混乱、デジタル技術の進展、規制の変化、そしてAIの活用が進む中で、企業はサイバー、ESG、サプライチェーンなど、さまざまな分野で柔軟に対応する力が求められています。

これらの課題を個別ではなく全体として捉え、早い段階で的確に対応している企業は、競争の中で優位に立つことができます。

LRQAは、お客様がそのような対応を進められるよう支援しています。

**RISK DOESN'T SLEEP
AND NEITHER DO WE.**



このレポートのご利用にあたって

このレポートは、LRQA が一般的な情報提供を目的として発行したものです。記載されている情報、分析、意見は、公開されている情報、LRQA 独自のデータ、そして専門家の協力に基づいています。発行時点で正確性を確保するよう努めていますが、LRQA は誤りや記載漏れ、またはこの資料に依拠したことによる損失について一切の責任を負いません。

このレポートの全部または一部を複製・再配布する場合は、事前に LRQA の書面による許可を得る必要があります。また、適切な出典の明記が必要です。記載されている商標、サービスマーク、商号は、それぞれの権利者に帰属します。

本レポートの内容は、法的、財務的、または専門的な助言を構成するものではありません。事業上の判断を行う際は、必ず専門家の助言を求めてください。

データ出典

Accenture (2024)
<https://www.accenture.com/us-en/insights/consulting/global-risk-compliance>

BCI (2024)
<https://www.thebci.org/news/supply-chain-disruptions-drive-increased-tier-mapping-and-insurance-uptake.html>

Boston Consulting Group (2023)
<https://www.bcg.com/press/6november2023-companies-risk-management-capabilities>

Consumer Brand Association (2023)
https://consumerbrandsassociation.org/wp-content/uploads/2021/03/Future_of_Supply_Chain.pdf?utm_source=chatgpt.com

Cybersecurity Ventures (2025)
<https://cybersecurityventures.com/cyberwarfare-report-intrusion/>

Deloitte (2024)
<https://www2.deloitte.com/global/en/pages/risk/articles/global-risk-management-survey.html>

EY (2021)
https://www.ey.com/en_gl/insights/assurance/why-esg-performance-is-growing-in-importance-for-investors

IBM (2024)
<https://www.ibm.com/reports/data-breach>

IEA (2023)
<https://www.iea.org/commentaries/the-importance-of-focusing-on-jobs-and-fairness-in-clean-energy-transitions>

ILO (2023)
<https://www.ilo.org/resource/news/nearly-3-million-people-die-work-related-accidents-and-diseases>

ISO (2023)
<https://www.iso.org/standard/42001.html>

JP Morgan (2025)
https://www.jpmorgan.com/insights/banking/global-dealmaking-trends-driving-growth?utm_source=chatgpt.com

LRQA EiQ (2025)
<https://www.eiq.com/reports-and-whitepapers/2025-supply-chain-esg-risk-outlook/>

LRQA Emirates Health Services case study
<https://www.lrqa.com/en/case-studies/ehs-achieves-iso-42001-certification-with-lrqa/>

LRQA Katoni case study
<https://www.lrqa.com/en-us/case-studies/katoni/>

LRQA (EiQ) Holland & Barrett case study
<https://www.eiq.com/articles/from-risk-to-resilience-holland--barrett-is-transforming-its-supply-chain-with-eiq/>

LRQA Shell case study
<https://www.lrqa.com/en-us/case-studies/shell-3d-printing-quality-assurance-case-study/>

LRQA Thrust Carbon case study
<https://www.lrqa.com/en/case-studies/iso-14083-verification-thrust-carbon/>

McKinsey (2022)
<https://www.mckinsey.com/business-functions/risk/our-insights/how-risk-management-can-reinforce-resilience>

McKinsey (2023)
<https://www.mckinsey.com/~media/mckinsey/business%20functions/people%20and%20organizational%20performance/our%20insights/the%20state%20of%20organizations%202023/the-state-of-organizations-2023.pdf>

Nicolás et al., arXiv (2023)
<https://arxiv.org/pdf/2307.11571>

NOAA National Centers for Environmental Information (NCEI) U.S. Billion-Dollar Weather and Climate Disasters (2025)
<https://www.ncei.noaa.gov/access/billions/>, DOI: 10.25921/stkw-7w73

Munich Re / Reuters (2025)
<https://www.reuters.com/business/finance/climate-change-shows-claws-with-rising-costs-disasters-munich-re-says-2025-01-09/>

Munich Re (2024)
<https://www.munichre.com/en/company/media-relations/media-information-and-corporate-news/media-information/2025/natural-disaster-figures-2024.html>

RapidRatings (2025)
<https://www.rapidratings.com/news-items/rapidratings-2025-risk-survey-reveals-resurgent-supply-chain-crisis>

Reuters (2017)
<https://www.reuters.com/article/business/verizon-yahoo-agree-to-lowered-448-billion-deal-following-cyber-attacks-idUSKBN1601EK/>

PwC (2023)
<https://www.pwc.com/gx/en/issues/risk-regulation/global-risk-survey.html>

PwC (2024)
<https://www.pwc.com/gx/en/issues/c-suite-insights/voice-of-the-consumer-survey.html>

Sedgwick (2025)
<https://www.sedgwick.com/press-release/european-product-recalls-reached-unprecedented-high-in-2024/?loc=eu>

UNDRR (2024)
<https://www.undrr.org/publication/global-assessment-report-disaster-risk-reduction-2024>

WTO (2025)
https://www.wto.org/english/res_e/booksp_e/trade_outlook25_e.pdf

LRQA について

LRQA は、世界をリードするリスクマネジメントパートナーです。

相互に関連したリスクマネジメントの仕組みを通じて、変化し続けるグローバルな環境の中でも、お客様が常に一步先を行けるよう支援します。

認証、サイバーセキュリティ、安全性、サステナビリティ、そしてサプライチェーンのレジリエンスまで、事業全体に潜むリスクを特定し、それぞれの課題に応じた柔軟で実効性のある対策を設計・実施します。リスクの特定から予防、保護までを包括的に支援し、お客様の事業の持続的な成長を後押しします。

業界ごとの専門知識、データに基づく見解、そして現場に根ざしたチームによって、保証、認証、検査、アドバイザリー、研修の各分野で、世界 150 か国以上・61,000 社を超えるお客様を支えています。

LRQA – Your risk management advantage.

お問い合わせ

詳細については、lrqa.com/ja-jp/ をご覧ください。

